

製品名: DR3 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab10149

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	45kDa

抗原情報

遺伝子名	TNFRSF25
別名	TNFRSF25; APO3; DDR3; DR3; TNFRSF12; WSL; WSL1; Tumor necrosis factor receptor superfamily member 25; Apo-3; Apoptosis-inducing receptor AIR;Apoptosis-mediating receptor DR3; Apoptosis-mediating receptor TRAMP; Death receptor 3; Lymphocyte-associated receptor of death; LARD; Protein WSL; Protein WSL-1
遺伝子 ID	8718.0
SwissProt ID	Q93038
免疫原	DR3 由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 230-310

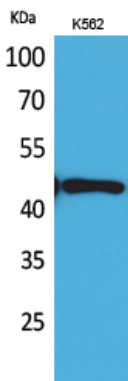
背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、TNF 受容体スーパーファミリーのメンバーです。この受容体はリンパ球が豊富な組織で優先的に発現し、リンパ球の恒常性維持に関与している可能性があります。この受容体は NF- κ B の活性を刺激し、細胞のアポトーシスを制御することが示されています。この受容体のシグナル伝達は、様々なデスドメインを含むアダプタータンパク質によって媒介されます。マウスを用いたノックアウト研究では、この遺伝子が胸腺における自己反応性 T 細胞の除去に関与していることが示唆されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションが報告されており、そのほとんどは分泌分子である可能性があります。B 細胞および T 細胞におけるこの遺伝子の選択的スプライシングは、T 細胞の活性化時にプログラムされた変化に遭遇し、主に全長の膜結合型アイソフォームが生成されます。これは、TNFSF12/APO3L/TWEAK の受容体の機能に関与していると考えられています。アダプター TRADD と直接相互作用します。NF- κ B の活性化を媒介し、アポトーシスを誘導する。リンパ球の恒常性維持に関与する可能性がある。、PTM: グリコシル化されている。、類似性: 1つのデスドメインを含む。、類似性: 4つの TNFR-Cys リピートを含む。、サブユニット: ホモ二量体。デスドメインを介して TNFRSF1 および TRADD と強く相互作用し、少なくとも 2つの異なるシグナル伝達カスケード (アポトーシスと NF- κ B シグナル伝達) を活性化する。BAG4 と相互作用する。、組織特異性: 胸腺細胞およびリンパ球に豊富に発現する。胸腺、結腸、腸、脾臓などのリンパ球を多く含む組織で検出される。前立腺にも存在する。、

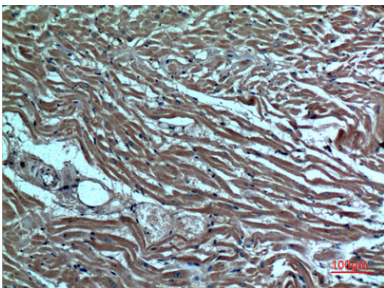
研究分野

サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;

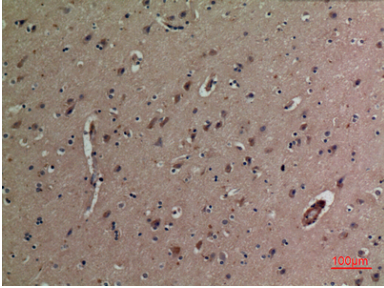
画像データ



DR3 ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。



パラフィン包埋ヒト心臓の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は 1:100 に希釈された